



第3回

光秀公のまち亀岡

俳句大賞

受賞作品集



【大賞『明智光秀賞』】

亀鳴くや恋の告白ときは今

神奈川県横浜市

合志 星羅さん

〈講評〉「亀鳴く」は春の代表的季語。恋の告白と光秀の思いを重ね、
亀を鳴かせたところ、見事な天下取り（大賞獲得）です。



【亀岡市長賞】

〈小学生の部〉

ポップコーンバッタみたいにとびはねる
八幡市立八幡小学校4年 伊沢 萌々花さん
〔講評〕コーンがはじける時、バッタが飛び跳ねる時、子ども目線で感じたままに詠んだ句。



【亀岡市教育長賞】

〈小学生の部〉

友だちのかげつかまえる秋のそら
大垣市立東小学校2年 齋藤 史明さん
〔講評〕秋になると影も長くなり、影ふみ遊びを楽しんでいる様子と、ふと見上げた空のすがすがしさも見えるようです。

〈中学生の部〉

送り火の文字もソーシャルダンス
亀岡市立東輝中学校2年 河合 舞純さん
〔講評〕コロナ禍での夏の送り火、見慣れた景色もソーシャルダンスのように感じた。世相をあらわした句。

〈中学生の部〉

霧の中幻獣麒麟が駆け抜ける
亀岡市立詳徳中学校3年 大橋 陸都さん
〔講評〕霧につつまれたように先が見えにくい世の中に麒麟がさつそうと現れ走り抜けていってほしいという願いのこもった一句です。

〈一般の部〉

雲海へ漕ぎ出してゆく朝日かな
神奈川県横浜市 山田 知明さん
〔講評〕雲海が朝日を浴びて躍動的に動く、自然の美しさ、雄大さを詠んだ句。

〈一般の部〉

朝霧や仔牛どさりと生まれ落つ
山口県周南市 熊本 芳郎さん
〔講評〕霧立ちこめる冷えた朝に、命の誕生の瞬間とその重みを「どさり」という一語で表した素敵な一句です。



【審査員特別賞 『坪内稔典賞』】

〈小学生の部〉

夏休みお母さんへの下剋上
尼崎市立上坂部小学校6年 野村 百花さん
〔講評〕「下剋上」がいいなあ。いきいきとした親子が目に浮かびます。

〈中学生の部〉

ベランダのペトリコールと虫時雨
京都教育大学附属京都小中学校9年 石崎 悠也さん
〔講評〕ペトリコールという新しい言葉、そして虫時雨という古い言葉。この二つの言葉の取り合わせがすてき。

〈一般の部〉

霧を追ふ霧がしづかに追ひついて
神奈川県川崎市 森下 哉美さん
〔講評〕霧の動きを見事に表現しています。「追ひついて」が絶妙。



【自然環境文化賞『山折哲雄賞』】

〈小学生の部〉

読書の秋本がうふふとわらつてる
八幡市立八幡小学校4年 上田 洋子さん
〈講評〉 やったね！本がわらうことに気づいたね。
「三月の甘納豆のうふふふ」を連想させる。

〈中学生の部〉

ママ怒る雪と一緒に溶けてくれ
亀岡市立南桑中学校1年 吉田 美結さん
〈講評〉 やさしく受けとめ、鋭く返す。その呼吸、
喧嘩するとき忘れられないで。

〈一般の部〉

午後三時話し相手に小鳥来る
京都府亀岡市 高橋 澄乃さん
〈講評〉 午後三時の夢芝居。お相手はオス鳥です
か？それともメス鳥さん？



【優秀賞】

〈小学生の部〉

朝ぎりでおいしく育つしのかぶら
亀岡市立安詳小学校4年 藤原 美羽さん
〈講評〉 そうか！それでみずみずしいのか。
ずっしりした重さまで感じます。

〈中学生の部〉

秋の空彼の瞳に写りたい
亀岡市立別院中学校1年 大久保 咲風さん
〈講評〉 すばらしい秋晴れの空と彼の瞳。中学生
らしい爽やかで切ない恋の句。

〈一般の部〉

行雲が麒麟に見えた夏休み
大阪府堺市 山野 大輔さん
〈講評〉 「あつ、あの雲キリンだ」「ほんと麒麟だ
ね」たのしい会話のはずむ夏休み。

ほづがわはきれいな水がおよいでる
亀岡市立川東学園6年 平井 凜奈さん
〈講評〉 すごい発見！水が「およいでる」なんて、
まるで生きてるみたい。

桜の池オオサンショウウオ影とおる
京田辺市立大住中学校1年 荻野 光太郎さん
〈講評〉 桜の下の池にオオサンショウウオの影を
見つけた驚きの春の発見。

保護犬の家族となりて秋日和
京都府相楽郡精華町 北尾 直美さん
〈講評〉 私たちが保護犬の家族になれたという、
保護犬への敬意と眼差しがあたたかい。

始業式のプール鯛の羽

尼崎市立上坂部小学校6年 金沢 康介さん
〈講評〉 水に浮かぶ鯛の羽・・・短かった夏休み
への思いも浮かんでいます。

山を塗る筆の先にも秋の風

五條市立五條東中学校2年 森田 舞依華さん
〈講評〉 山をスケッチする絵筆の先をかすめる
秋の風です。繊細な一句です。

山車来るや俄かに辻の太りたる

京都府京都市 三月 佳道さん
〈講評〉 山車とともに人々が辻に集まり、あふれ
る。その笑顔と歓声に祭は一気にもりあがり。



【奨励賞】

〈小学生の部〉

おとうとのおみやげできたおにやんま

大山崎町立大山崎小学校1年

吉岡 晴大さん

迎え火でこっちやこっち先祖様

八幡市立八幡小学校5年

片倉 梨湖さん

竹の春静かに散歩父と祖母

名古屋市立富士見台小学校2年

大形 朝穂さん

アユモドキニひきできようそうしているよ

亀岡市立安詳小学校4年

池田 理々花さん

流れ星ねがおうとして七回目

八幡市立八幡小学校6年

椿井 康太さん

〈中学生の部〉

上も下もさくらだらけではさみうち

八尾市立山本小学校5年

岡 采奈さん

深いきりまるで天使の羽のよう

亀岡市立詳徳小学校5年

中井 光心さん

朝霧の保津川下りきしむ音

亀岡市立東輝中学校2年

小澤 留奈さん

赤とんぼはんしやしんけいいいんだな

八幡市立八幡小学校3年

天水 健友さん

アオバズクきりつとした目でパトロール

日向市立坪谷小学校2年

海野 輝陽さん

霧の中学校ぬけだす生徒たち

亀岡市立別院中学校1年

和崎 美佐さん

トンボだよおねえちゃんどわたしだよ

八幡市立八幡小学校4年

北村 歩花さん

ありがとうその一言が南風

尼崎市立上坂部小学校6年

松井 杏慈さん

朝露が制服ぬらす通学路

亀岡市立亀岡川東学園9年

久保 亮陽さん

夏のパフエドんどん口にダイブする

八幡市立八幡小学校5年

花澤 由衣さん

お月見で団子ほおぼるまるい顔

尼崎市立上坂部小学校6年

小嶺 心咲さん

彼女見て離れる距離に霧かかる

京都教育大学附属京都小中学校9年

西村 匠史さん

片蔭や隠れずにいる僕の影

京都教育大学附属京都小中学校 9年

宍戸 征仁さん

くりの木やゆつたりしずむとげの音

湧水町立栗野中学校 1年

上水流 桜舞さん

彼岸花祖母と歩いた帰り道

湧水町立栗野中学校 1年

田島 佳倫さん

馬堀の人と霧雨やわらかさ

亀岡市立育親中学校 2年

福井 優花さん

自転車で並んで帰る秋の風

亀岡市立育親中学校 1年

上原 大河さん

お正月太る理由が分からない

亀岡市立南桑中学校 3年

日野 心太さん

運動会はりきる母とバテる父

京田辺市立大住中学校 3年

梶 京雅さん

飛蝗たち幼少期までジャンプする

五條市立五條東中学校 2年

久下本 晴香さん

愛犬がくるりくるりと紅葉見る

五條市立五條東中学校 2年

橋本 卓磨さん

へ一般の部

アロハシヤツ強気の頃の香を残す

京都府城陽市

林 力朗さん

ふる里の風の匂ひや栗ごはん

神奈川県横浜市

今村 千年さん

城跡よりのなき草矢放ちけり

京都府京都市

中村 優江さん

ガラシヤ像髪にクルスに散る紅葉

京都府宮津市

浜野 久恵さん

市井人は「みつひではん」と呼んで秋

兵庫県伊丹市

田中 敏子さん

杉の秀を揃へ丹波の青嶺かな

大阪府大阪市

吉江 潤二さん

柿日和鐘の余韻のなかにゐる

京都府福知山市

山内 利男さん

光秀公正面に据え菊師去る

愛知県東海市

斉藤 浩美さん



【佳作】

〈小学生の部〉

新米の卵かけごはん出勤す

京都府亀岡市

塚本 郁子さん

夢の中ゼリーの上でお昼寝だ

滋賀大学教育学部附属小学校6年

井上 智可良さん

はやく行こトンボがせかすランニング

亀岡市立大井小学校3年

臼井 えりさん

コスモスやどちらが姉か妹か

三重県三重郡菰野町

舘 千恵子さん

よんでいるヒマワリたちが太陽を

亀岡市立大井小学校5年

奥風 希愛さん

かわはらけかぞくいっぱいたのしいな

亀岡市立安詳小学校4年

河原 史貴さん

学童の列を崩さず霧のまち

京都府船井郡京丹波町

西村 剛司さん

千歳あめ七つすぎてもほしいんだ

カナディアンアカデミー6年

大谷 菜夏さん

アユモドキ石の下からこんにちは

亀岡市立安詳小学校4年

丸岡 千紗さん

石垣や丹波路の柿熟れるころ

富山県南砺市

野原 裕人さん

すいかわり右へ左へおわらない

京都市立向島秀蓮小中学校6年

瀧脇 すみれさん

葉の上であまがえるたちが雨ながめ

八尾市立山本小学校5年

島野 幸大さん

夏休みとうとうきたかまつてたぞ

亀岡市立安詳小学校4年

新井 颯太さん

秋の花ゆうやけ雲の通り道

八尾市立山本小学校5年

小山 夏緒里さん

つゆがきた家の中まで雨の音

亀岡市立安詳小学校4年

山口 りょうまさん

入学式去年とくらべ静かだな

八尾市立山本小学校5年

川西 梨央さん

笑い声さくらなみきのランドセル

八尾市立山本小学校5年

高橋 蘭さん

おちてくる木からどんぐりぼうしつき

八幡市立八幡小学校3年

山口 紗愛さん

かみなりだゴロゴロうるさいどっかいけ

八幡市立八幡小学校4年

太田 唄心さん

玉串川じいじとあるいたさくら道

八尾市立山本小学校5年

河北 權斗さん

小鳥さん二人そろってなに見てる

八幡市立八幡小学校3年

山本 心音さん

もみじがねいっしょにはいろいろおんせんに

八幡市立八幡小学校4年

加儀 琥徹さん

屋根の下かえるといっしょに雨やどり

八尾市立山本小学校5年

善本 琴姫さん

海の音ざーざーひびく海の声

八幡市立八幡小学校4年

西田 素苑さん

雪合戦みんなたおれてもうおわり

八幡市立八幡小学校4年

和田 康聖さん

盆おどりゆかたひらひらまいおどる

八尾市立山本小学校5年

松木 綺香さん

赤とんぼ夕日へ向かってとんでゆく

八幡市立八幡小学校4年

久保 輝さん

冬の日のじゅぎょう中に字がいがむ

八幡市立八幡小学校4年

新田 翔成さん

あじさいのあたまのうえにかたつむり

八尾市立山本小学校5年

前田 涼恋さん

さようならパツときえてく夏休み

八幡市立八幡小学校4年

谷口 愛珠さん

さくらんぼケーキにのせてとりあいだ

八幡市立八幡小学校5年

松島 海翔さん

赤とんぼ秋のはじまりゆうびんか

八幡市立八幡小学校3年

竹内 航平さん

くんくんくんだどってみると金木せい

八幡市立八幡小学校4年

宮崎 莓子さん

夏休み今年の日焼けしなかった

八幡市立八幡小学校5年

橋元 大和さん

にわプール太陽あたってろてんぶろ

八幡市立八幡小学校5年

野田 祐音さん

6月の炎の中に仇あり

八幡市立八幡小学校6年

島田 侑璃奈さん

なつやすみ一人でライブうきうきだ

亀岡市立詳徳小学校5年

石村 弥生さん

花火ちゃん夜空にドカンとジャンプする

八幡市立八幡小学校5年

山中 みやさん

せんふうきぐるぐる回る台風だ

亀岡市立亀岡川東学園5年

牧澤 歩花さん

秋の空里にはききようのお星さま

亀岡市立つじヶ丘小学校2年

石野 紬さん

たいへんだすいかコロコロつかまえる

八幡市立八幡小学校5年

廣谷 夏海さん

すきとおる川の中にはアユモドキ

亀岡市立亀岡川東学園6年

亀岡 瑞希さん

すぐバトルえさまだあるよカブトムシ

日向市立坪谷小学校1年

平井 杏樹さん

なつがきたままのあたまがふつとんだ

八幡市立八幡小学校5年

屋比久 ラリツサ ミサキさん

大河館今日も見ている赤とんぼ

亀岡市立亀岡川東学園6年

人見 麗菜さん

青空にとんぼのせなかとけていく

日向市立坪谷小学校2年

岡村 真聖さん

みずたまりはいりたくなるながぐつだ

八幡市立八幡小学校6年

加儀 月子さん

いじけ顔マスクの中にかくれんぼ

亀岡市立亀岡小学校3年

麻田 紗帆さん

ヒュルヒュルヒュル落ち葉が地面に
ダイビング

日向市立坪谷小学校3年

青木 龍之介さん

釣りに行くむれ来たむれ来たイワシかよ

八幡市立八幡小学校6年

及川 梨愛さん

夏休み何もしないでダラダラと

亀岡市立詳徳小学校5年

山下 蒼規さん

夏の朝ドアを開くといいい音だ

淡路市立学習小学校4年

太田 陽介さん

赤とんぼ秋の気配をよんでいる

淡路市立学習小学校4年

岡内 莉央さん

梅雨明けも宿題でなおどんよりだ

尼崎市立上坂部小学校6年

平田 昇馬さん

いちよりの葉暗闇照らす道しるべ

亀岡市立亀岡中学校1年

大河内 隆暉さん

夏の雲芝生の上でドリブルだ

淡路市立学習小学校4年

畠田 惺愛さん

たから物にぎって帰る秋の道

亀岡市立安詳小学校5年

難波 花雨さん

冬の朝歩く人々深海魚

亀岡市立東輝中学校2年

鈴木 晴日歩さん

十五夜に目立ちたがりの月がいる

八尾市立西山本小学校5年

五味 千裕さん

空の下こどもがはしやぐ水ふうせん

亀岡市立つつけ丘小学校2年

山口 葵さん

リス達が運んでるのは小っちゃい秋

亀岡市立別院中学校3年

上芝 海人さん

光る空火花が咲いてすぐ枯れて

八尾市立西山本小学校5年

三井 健生さん

にぎる手に母娘おそろいあかぎれが

西宮市立瓦林小学校4年

竹葉 ひかるさん

湯谷ヶ岳見守る先には落ち穂拾い

亀岡市立別院中学校2年

古本 ノアさん

タンポポや空を飛んでる子どもたち

台湾 南投県 普台小学校6年

陳 禹竺さん

つわものの無念キキョウに問いかける

茨木市立大池小学校4年

高橋 松太郎さん

色変わる日暮れと同じ君のほほ

亀岡市立別院中学校3年

大西 ひまりさん

かえり道かごいっぱいのはくちよう座

大阪市立南港桜小学校4年

國原 真桜さん

かまきりにおびえてほえる大型犬

亀岡市立亀岡川東学園8年

谷村 穂果さん

〈中学生の部〉

亀岡の山にかかりし霧の傘

亀岡市立亀岡川東学園9年

河原 光希さん

光秀の月が導く亀山城

亀岡市立亀岡川東学園9年

塩谷 蓮さん

〇〇な秋みんなはどんな秋が好き

亀岡市立亀岡川東学園9年

奥村 優菜さん

悪夢見て起きたら月と目が合った

亀岡市立亀岡川東学園9年

川勝 陽葵さん

家の中くしやみで合唱花粉症

亀岡市立亀岡川東学園9年

三宅 未来さん

満月が光った瞬間恋叶う

京都教育大学附属京都小中学校9年

平塚 伊織さん

秋の暮水澄む川に長い影

京都教育大学附属京都小中学校9年

小堀 和佳子さん

夏祭り空に浮かんだ私の恋

京都教育大学附属京都小中学校9年

村上 愛佳さん

夕立やふと目が合う水面かな

京都教育大学附属京都小中学校9年

河野 温斗さん

木犀にふと足を止め深呼吸

京都教育大学附属京都小中学校9年

平田 華子さん

祖母の家庭からさんまのいい香り

湧水町立栗野中学校1年

松山 花栄さん

どんぐりでいっぱいになる小さな手

湧水町立栗野中学校1年

福満 敬大さん

首振ってけんか見守る扇風機

京都教育大学附属京都小中学校9年

奥村 優月さん

打ち水が迎えてくれる帰り道

京都教育大学附属京都小中学校9年

井尻 隆寧さん

ジリリリリ鳴り続く音冬の朝

京都教育大学附属京都小中学校8年

下津 陽菜さん

節分や天下は内と明智言う

京都教育大学附属京都小中学校8年

廣田 晴人さん

門灯のぬくもり求めて寒蛙

京都教育大学附属京都小中学校8年

福井 玲佳さん

テレビ見て笑い転げる文化の日

京都教育大学附属京都小中学校8年

アラケリアン 恵さん

夏の肌才セロのように白と黒

京都教育大学附属京都小中学校 8年

田中 なつさん

通知表夏の我が敵家にあり

京都教育大学附属京都小中学校 8年

横山 紗枝さん

つばめ二羽僕の家へと道案内

京都教育大学附属京都小中学校 8年

小林 幹央さん

空泳ぐ鰭をねらい舞う鳶よ

京都教育大学附属京都小中学校 8年

白樫 優奈さん

水鏡や入道雲の鼓動する

京都教育大学附属京都小中学校 8年

嶋村 和子さん

松風にふかれてをりぬ春着の子

京都教育大学附属京都小中学校 8年

竹内 一生さん

歩くほどふるさと恋し稲穂道

京都教育大学附属京都小中学校 8年

播磨 優さん

星の下桔梗の華にも星一つ

亀岡市立育親中学校 3年

入江 早露さん

荒れ畑ひとつ残ったさつまいも

亀岡市立育親中学校 3年

法貴 苺愛さん

きりの中光秀も俳句をかいいたかな

亀岡市立詳徳中学校 1年

射場 心美さん

日が昇り一緒にあわてる僕とセミ

亀岡市立南桑中学校 3年

外村 佑瀬さん

夏休み白紙の予定と進路希望

亀岡市立南桑中学校 3年

福知 佳奈さん

体育祭ツイントールでおしゃれかな

湖南市立甲西中学校 3年

北島 結衣さん

目が覚めて春セーターの出番かな

湖南市立甲西中学校 3年

井上 楓果さん

ガラス越しひそかにねらうやもりの目

湖南市立甲西中学校 3年

此木 理人さん

彼岸花イナゴ避けつつ帰る道

亀岡市立南桑中学校 2年

田村 明さん

うちわでは亀岡の夏過ごせない

亀岡市立大成中学校 1年

友善 聖さん

春の日にいねむりしながら本を読む

亀岡市立大成中学校 1年

三上 乃愛さん

夏の風フルスイングでホームラン

亀岡市立大成中学校1年

森 大樹さん

虫かごやセミの音色で渋滞だ

京田辺市立大住中学校3年

樋口 真央さん

雨降りてバス停の下のかえるかな

京田辺市立大住中学校3年

山本 一心さん

秋風やスカート吹き抜く人通り

五條市立五條東中学校2年

久保 奈摘さん

秋来るいつもとちがう散歩道

五條市立五條東中学校2年

米田 理乃さん

秋が去り誰もわからぬ恋をする

五條市立五條東中学校2年

加藤 瑠璃さん

鼻唄も近づいてくる芋屋台

五條市立五條東中学校2年

澤井 紗良さん

顔しかめ笑う手元に青蜜柑

五條市立五條東中学校2年

竹村 栞歩さん

稲雀電線会議田をにらみ

五條市立五條東中学校1年

松井 美咲さん

ひがん花田畑の道がハリウッド

五條市立五條東中学校3年

山内 仁美さん

ニュートンも驚くほどの赤りんご

五條市立五條東中学校3年

松井 ひなたさん

読み捨てるチラシのすみの桔梗かな

大垣市立東中学校3年

齋藤 光起さん

霞の中光が導く奥座敷

京都市立向島秀蓮小中学校8年

村川 和さん

のつそりとのど仏鳴る草の花

名古屋市立守山中学校1年

水野 結雅さん

浮かぶ月水面にゆれてとけてゆく

亀岡市立詳徳中学校3年

中川 友香さん

鳳仙花染めてもらった爪と頬

村山市立葉山中学校2年

古郡 あおいさん

講 評

○全体

今回はコロナ流行のさなかのコンテストになりましたが、昨年の数を超す応募句がありました。うれしいことです。575という小さな表現に心を遊ばせる、その余裕というか、ちょっとした前向きの気持ちがうれしいです。

このコンテストを担当しているのは、亀岡市役所の市民力推進課という部署です。575を通して言葉を磨く、そうした行為は、市民力の根っこを鍛えるのではないのでしょうか。「光秀公のまち亀岡」は、「言葉を鍛えるまち亀岡」でもあります。

○小学生の部

ポップコーン・友だちの影・かぶら・本・お母さん・蛹・・・、さまざまな自然や人の暮らしが、いつもと違う姿で登場してきました。その景色には、それを見つけた作者の言葉で、それぞれ新たな命が吹き込まれています。

いつも見慣れた景色なのに、ふいに「あれっ！」と驚いたり、「うーん？」と首をかしげたり、「あはは！」と笑ってしまったりする瞬間があります。それを見逃さない目と心が、こんな素敵な「言葉の景色」を生むのですね。今回の入選作には、この「あれっ！」や「うーん？」、「あはは！」が、すてきな言葉となって躍動しています。

○中学生の部

1, 729句もの応募がありました。旺盛な中学生の創作意欲を感じさせられました。保津川、馬堀などの亀岡の地名、霧や露などの自然現象、ママや祖母、友人などの人々を詠んだ句など、バリエーションにあふれた詠みぶりでした。もちろん、「麒麟」を詠んだ句も。中学生が自分たちの目線や身の丈で身の回り、自然や歴史、親、友人をとらえていることが伝わってきました。俳句を詠むために周囲や自分をよく観察する、そしてその観察の結果、自分や周囲が豊かなものに見えてくる。そんな俳句との付き合い方を進めていってほしいものです。

○一般の部

亀岡や光秀を思いやっつての作品が例年にも増して多かった気がします。今年は新型コロナウイルス感染症という経験したことのない疫病に世界中が悩まされました。人類の長い歴史の中で何度も繰り返されてきたこととは言え、子どもから高齢者まですべての人にとって気の抜ける日は一日もありませんでした。そんな中で、自然と向き合い、亀岡の歴史を思い、俳句と真剣に向き合った日々があったことはかけがえのないものであったと思います。その経験を忘れず、これからも、山を仰ぎ、川のせせらぎを聞き、俳句を作ることで、一人一人が少しでも心豊かな時間が過ごせますよう願っています。

開催内容

【開催趣旨】

世界で最も短い詩である俳句は、今では世界各地に広がり、幅広い層が五七五の言葉の表現を楽しんでいます。現在放映中の大河ドラマ『麒麟がくる』の主人公であり亀岡ゆかりの武将「明智光秀」が詠んだ「時は今天が下知る五月哉」の句はとても有名です。光秀もまた俳句を愛した一人でした。

大河ドラマの放映決定と亀岡市生涯学習都市宣言30周年を機に、光秀も愛した俳句を広く全国から募集することで、亀岡の魅力を全国に発信するとともに、俳句を楽しむ機会を創出し、次世代を担う青少年の健全育成と生涯学習の更なる推進を目指しています。

【募集作品】

○光秀公のまち亀岡を題材として詠んだ句

○自由句（自然を詠んだ句など）

※一人合計2句まで

【募集部門】

・小学生の部 ・中学生の部 ・一般の部

【賞】

○大賞「明智光秀賞」

1句

○亀岡市長賞

各部門1句（計3句）

○亀岡市教育長賞

各部門1句（計3句）

○審査員特別賞「坪内稔典賞」

各部門1句（計3句）

○自然環境文化賞「山折哲雄賞」

各部門1句（計3句）

○優秀賞

各部門3句（計9句）

○奨励賞

数点

○佳作

小学生の部・中学生の部 数点

【審査委員】

坪内稔典（俳人）

植山俊宏（京都教育大学教授）

名村早智子（俳人）

井上菜摘子（俳人）

川端建治（俳人）

桂川孝裕（亀岡市長）

神先宏彰（亀岡市教育長）

【アドバイザー】

山折哲雄（宗教学者）

【主催】

亀岡市

【共催】

亀岡市教育委員会

【後援】

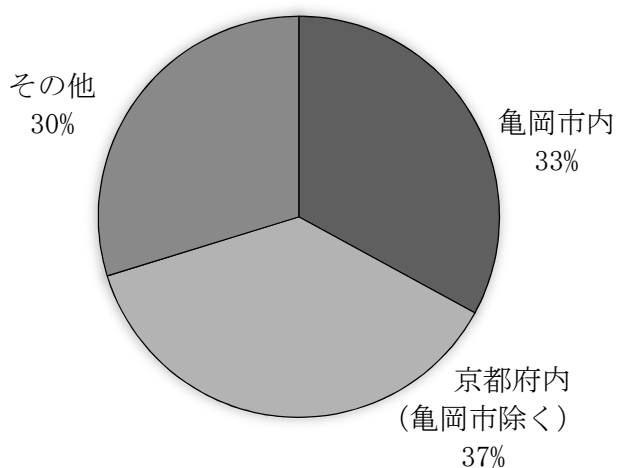
京都府、京都府教育委員会、
NHK京都放送局、KBS京都、
京都新聞、（公財）生涯学習かめおか財団

応募結果

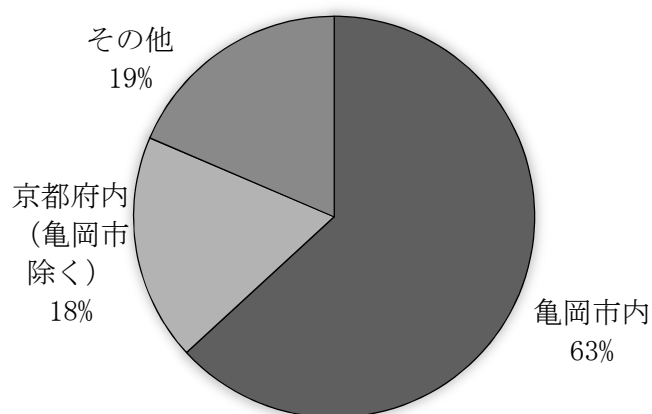
(句)

	合計	内訳		
		亀岡市内	京都府内 (亀岡市除く)	その他
小学生の部	1,408	464	525	419
中学生の部	1,729	1,092	316	321
一般の部	1,701	337	334	1,030
合計	4,838	1,893	1,175	1,770

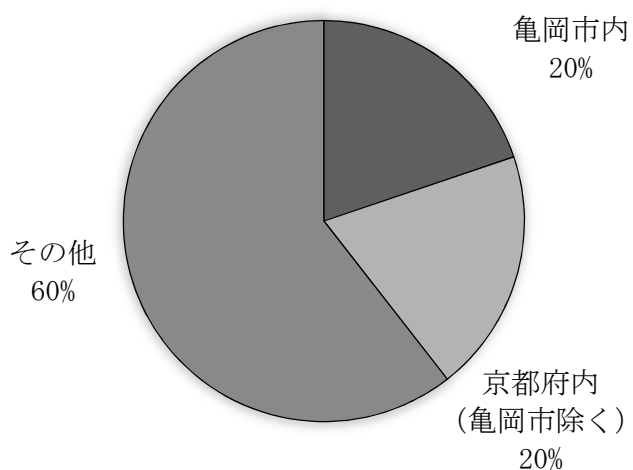
小学生の部 1,408句



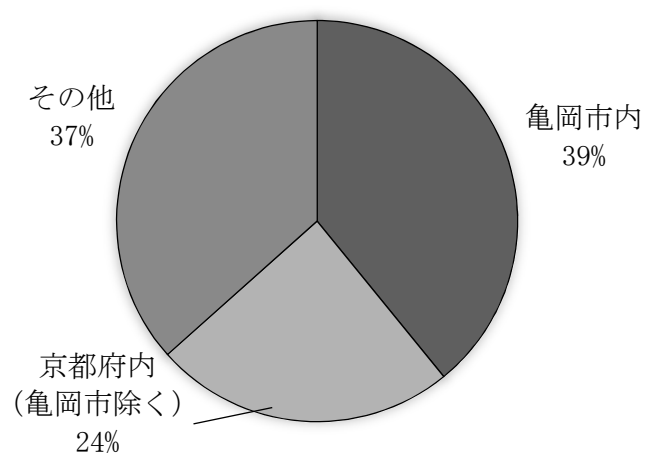
中学生の部 1,729句



一般の部 1,701句



合計 4,838句



たくさんのご応募ありがとうございました。

生涯学習都市宣言

わたくしたち亀岡市民は人間の尊重と
地域社会の一員としての自覚のもと
常に いま 何をなすべきかを
問いかけ合いながら
生涯にわたり学び続け自己を高め
連帯の絆を強めることにより
生きる喜びと明るく豊かなまちに住む
喜びの持てる亀岡を目指し
ここに亀岡市を「生涯学習都市」
とすることを宣言する

昭和63年3月30日 告示

